

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	11
事業名	斎苑管理運営経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	6
施策	4 快適なまち	課名	町民課		
	4-2 良好な生活環境のまちをつくる	係名	戸籍住基係		
	4-2-1 環境衛生対策の推進				
主要施策	⑤墓地・火葬場の充実				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	施設の安定した稼働とサービス提供ができています。
事業内容	東員町斎苑の長寿命化…東員町斎苑は昭和61年に竣工し、33年が経過した。今後は、東員町斎苑中長期整備計画および東員町斎苑個別施設計画の下、計画的な修繕と改修が必要になる。平成30年度は外壁等改修工事を実施。令和元年度は排水設備工事の設計を実施。今後は排水設備、電気設備、空調設備、外溝設備、火葬炉設備などの改修が必要である。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	葬祭場・斎苑に対する満足度	94	92	87	%	↑
2							
3							
4							
5							
		平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B				27,782	17,404	66,269	
財源内訳	直接事業費 A			26,198	15,820	64,685	
	うち一般財源			12,289	10,233	16,759	
人件費 (千円) B				1,584	1,584	1,584	
内訳	一般職員 (人・千円)	0.24	1584	0.24	1584	0.24	1584
	臨時職員 (人・千円)	0	0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	計画的な改修作業を進め、火葬炉についても計画修繕を行う。また火葬委託に関しては、プロポーザル方式の導入による契約を検討する。	③取組の課題	昭和61年に開設した斎苑は、既に34年が経過しており、火葬炉、電気設備等、随所に経年劣化が見られ、長寿命化に向け改修の必要がある。
②R1年度に実施した取り組み	斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、排水設備の設計を行った。また、火葬委託をプロポーザル方式により業者選定を行った。	④今後の改善計画	平成28年度に策定した、斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、計画的に改修していく。